

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

298号

2015年11月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

高齢化する南北離散家族再会

今回で20回目を迎える南北離散家族の再会事業が10月20日～26日、1年8ヶ月ぶりに金剛山で行われた。今回は186組の離散家族が2回に分かれ、2泊3日の日程で1回2時間、計6回12時間の再会であった。

韓国側から643名、北朝鮮側から329名の肉親が金剛山ホテルで不安と喜び、感激の涙を流しながら、半世紀以上生き別れた肉親と再会した。それぞれが別れた時の姿を走馬灯のように思い起こしながら、生きて会えたことの喜びをひしひしとかみしめ涙を流し、抱きしめ合う家族の人生模様がそこにあった。

1950年6月末に結婚間もない夫婦が朝鮮戦争で生き別れ、65年ぶりに再開した。当時19歳の新婦イ・スンギュさんのお腹には新しい命が宿っていたが、夫は戻って来ず。夫は死んだものと思い女手一つで子どもを育て、毎年夫の法事をしていたという。

また今回、最高齢のキム・ナムギュさん(96歳)は北に暮らす妹キム・ナンドンさん(83歳)と65年ぶりに再会。妹さんから「本当にナギユン兄さんか」と尋ねられる場面もあり、ナギユンさんがうなずくと、二人は手を固く握り涙を流した。

また2歳の時に別れ、韓国で暮らす娘イ・ジョンスクさん(68歳)と北朝鮮に暮らすオモニ(母)リ・フンジョンさん(88歳)は66年ぶりに再会した。顔を覚えていなくても親子の情は一瞬で蘇る。しかし、再会の後の別れは無常である。26日には再び会う約束のできない涙の別れ

をし、また会えることを願いながら、それぞれの帰路に着いた。

離散家族問題は南北の不幸な歴史を象徴している。1950年6月25日に始まった朝鮮戦争で1000万人の肉親が南北に引き裂かれた。その後南北関係の悪化に伴い自由に往来できない状況が今なお続いている。

離散家族問題はわが民族にとって大きな社会問題である。離散家族の問題は月日が流れれば、流れるほど新たな問題を生み出している。一番大きな問題は高齢化である。朝鮮戦争以来65年が過ぎ、

今回の家族再会者の年齢も80代、90代と高齢化が進んでいる。申請者が多く抽選に漏れた中には、会えずに亡くなっていった高齢者がいることも忘れてはならない。また離れ離れになった夫婦が南北で新たな家族をつくる問題もある。南北

の対立は離散家族に様々な問題を生み出している。

今、我々に強く求められているのは、今後の離散家族事業であろう。現在の離散家族再会事業では会える人数に制限があり、時間もかかっている。申請さえすれば、いつでも会える場所を作ること。家族を捜す南北赤十字社の業務を拡大し、自由な手紙の往来を可能にすること。南北の両政府は無条件に離散家族事業を人道的観点で推進していかなければならない。また同時並行的に南北の和解と交流を政府レベルで進め、結果を出すことが求められる。そして、そのような政府を私たちが作っていくことではないだろうか。(寿)



▲涙を流しながら、再会を喜ぶ離散家族

8・25南北合意に至る経過と 意義などについて活発な討論を行う 韓統連セミナー

8月の南北高位級接触で合意された8・25合意、北朝鮮の人工衛星打ち上げをめぐる情勢など朝鮮半島情勢について認識を共有するため、韓統連大阪本部主催で「韓統連セミナー 10・4宣言8周年 8・25南北合意と朝鮮半島情勢の行方」が10月4日(日)、東成区民センター(大阪市東成区)で開かれ、会員をはじめ地域同胞、日本人が参加した。

セミナーでは、金隆司(キム・ユンサ)韓統連大阪本部代表委員が開会挨拶を行い「正しい運動を行うには、正しい情報が必要です。今日のセミナーを通じて朝鮮半島情勢をめぐる正しい情報と認識を共有して、運動に役立てていきましょう」と語った。



▲朝鮮半島情勢について講演する金昌五副代表委員

続いて「8・25南北合意と朝鮮半島情勢の行方」をテーマに、金昌五(キム・チャンオ)韓統連大阪本部副代表委員が情勢講演を行った。金副代表委員は、8月4日に発生した非武装地帯での地雷爆発事故から8月25日の南北高位級合意に至る経過を詳細に解説しながら、「8・25南北合意で最も重要なのは、▲南側の対北拡声器放送の中止と、北側の準戦時体制の解除といった軍事的緊張の解消にとどまらず、▲南北関係を改善するための当局者会談の開催に合意したこと」と指摘した。

そして合意発表後、朴槿恵大統領の支持率が上がった点について「軍事的衝突の回避と南北関係の改善を願う韓国民の意思の発露」とし、「せっ

かく合意に至った南北関係改善の好機を逃してはならない。特に朴槿恵政権に合意事項を誠実に履行するよう求める運動が重要だ」と主張した。

情勢講演終了後は活発な質疑討論が行われた後、韓統連大阪本部の今後の活動が紹介され、金昌秀(キム・チャンス)副代表委員が開会挨拶を行った。その後、今年還暦を迎えた金昌秀副代表委員に、韓統連大阪本部からお祝いの花束と韓青大阪本部から記念品が贈呈され、参加者から温かい拍手が送られる中、韓統連セミナーは終了した。

李承晩独裁政権の本質と 4・19革命などについて学ぶ 韓統連生野支部現代史セミナー②

韓統連生野支部主催による「ウリ現代史セミナー2015 第2回 独裁と民主革命の時代」が10月18日(日)、生野支部事務所(大阪市生野区)で開かれた。

セミナーでは金昌秀(キム・チャンス)韓統連生野支部代表委員が開会挨拶を通じ、「今回学ぶ現代史と現在の韓国社会状況はとても似ている。それは政権基盤の弱い政権が、基盤を強固にするため米国に追従し、民衆を弾圧していくところにある」と述べ、「李承晩独裁政権の本質などについて認識を深めよう」と語った。



▲4・19革命の経緯などを報告する金優子宣伝部長

次に「独裁と民主革命の時代」をテーマに1953年から1972年までの韓国の歴史を、金優子(キム・ウジャ)生野支部宣伝部長が報告した。

金宣伝部長は「▲李承晩(イ・スンマン)政権は反共・反北を国是とし、▲米国への政治的・経済的

従属のもと、自らの政権基盤の強化・延命のために不正選挙と進歩勢力への弾圧を行った」と指摘し、「このような李政権の独裁政治に対する民衆の怒りが4・19革命へとつながり、李政権を退陣させた」と述べるとともに、「革命後には祖国の統一を望む学生たちが、北の学生に南北学生会談を提案して統一の機運も高揚した」と語った。

そして、金宣伝部長は「しかし、こうした統一機運に反感を持った朴正熙(パク・チョンヒ)率いる青年将校たちが5・16軍事クーデターを起こして政権を奪取し、軍事独裁政権を樹立させた」と述べ、「朴独裁政権は劣悪な労働条件のもと労働者を低賃金で働かせ、それに抗議して全泰壹氏が焼身抗議を図り、社会に大きな衝撃を与えた」と解説した。

報告後は質疑応答が行われ、現代史セミナー第2回は終了した。

映画を通じ、核兵器の恐怖と 平和の大切さを伝える いややねん戦争こどもまつり2015

韓統連生野支部が実行委員会に参加している
「いややねん戦争こどもまつり2015(主催:

同実行委員会)」が、10月24日(土)御幸森第2公園(大阪市生野区)で開かれた。

こどもまつりでは、最初に在日同胞有志によるサムルノリの演奏が発表された後、手品、こども権利条約クイズが進行され、続いて、子どものど慢では子どもたちが舞台上がり、自慢の歌を披露した。

その後、腹話術、エイサー、南京玉すだれが行われ、子どもたちだけでなく、保護者も共に楽しんだ。

会場では、韓統連生野支部によるフランクフルトの出店をはじめビール・チヂミ、ミルクせんべい、スーパーボールすくいなどの出店が並び、こどもまつりの雰囲気盛り上げた。

そして、おやじバンドによる演奏が行われた後、金昌範(キム・チャンボム)実行委員長が主催者挨拶を通じ、平和の大切さを子どもたちに訴えた。

毎年こどもまつりでは戦争と平和をテーマにした映画が上映されており、今年は広島原爆被害をテーマにした「おこり地蔵」が上映され、子どもたちに核兵器の恐ろしさと命の尊さを伝え、こどもまつり2015は終了した。

〈次代を担う若者たち－韓青大阪本部 活動紹介－〉

アンニョンハシムニカ、韓青大阪本部の李俊一(イ・チュニル)です。

すっかり涼しくなり、過ごしやすくなりましたが、皆さんお元気でしょうか？

9月～10月は、韓青はちょうど上半期と下半期の中間地点でして、上半期の総括と下半期の方針を論議する時期です。ですからこの間は会議づけです。常任委員は全員、韓青大阪本部の運動組織をどうやって発展させていくべきか積極的に意見を出し合いました。

そのうえで下半期の方針を合意しました。全国的に大きな取り組みとしては来年1月に、大阪で在日同胞青年に向けた講演会「青年フォーラム」を開催し、3月には冬期講習会を開催します。特に青年フォーラムは全国主催の行事を大阪で開催するとあって、大阪から多くの同胞青年を連れて行きたいと思います。

また韓青大阪単位では来年の2月に布施支部、4月に生野北支部の定期大会を開催しようと準備を進めています。いずれの支部も日本有数の同胞密集地にあり、全国的にも重要な役割を担っています。定期大会を成功させることで韓青大阪本部の組織をより一層発展させていく決意です。また正式に決定次第お知らせいたしますので、その際にはご協力、ご参加のほど、チャル プタッカゲスムニダ(よろしくお願ひします)。



▲久々に盟員と一緒に交流会

大阪における朝鮮学校「高校無償化」、補助金不交付に関する裁判について 朝鮮高級学校無償化を求める連絡会・大阪 大村和子

11月12日(水)「朝鮮学校を守るための裁判支援集会・大阪」の開催が予定され、裁判闘争も大詰めを迎えています。今回、朝鮮高級学校無償化を求める連絡会・大阪の大村和子さんに、この間の裁判闘争の経過と意義について書いて頂きましたので紹介します。

高校無償化法は、公立高校の授業料の不徴収、私立高校をはじめ専修学校や各種学校に位置付けられている外国人学校への適用も定めた画期的な法律であり、無償化制度は2010年4月11日から実施された。

専修学校や外国人学校は「就学支援金」の支給対象校として指定されるには、制度的に「高等学校の課程に類する課程」を備えていることが基準とされていた。全国に10校ある朝鮮高校はその基準を十分に備えていたが、2012年12月末下村文科大臣(当時)が朝鮮学校に対する指定を行わない方針を発表した。

このため2013年1月、大阪朝鮮学園は指定の「義務付け」を求めて国を提訴した。同年2月、文科省は朝鮮学校が指定申請をする根拠となる条例を削除した改悪省令を発表し、朝鮮学校に対して不指定の通知をした。原告は訴えに「不指定処分の取り消し」を追加した。

大阪府は全国的に見て早くから朝鮮学校への補助金交付が行われてきた地域である。ところが橋下知事(当時)が、公立学校の10分の1にも満たない額の補助金を問題視し、2010年3月、大阪朝鮮学園に対して補助金交付の条件を突きつけ、学園は苦渋の選択としてこの条件を受け入れた。だが、大阪府は「2012年2月に北朝鮮で行われた迎春公演に朝鮮学校の生徒が参加し、これが学校行事としての参加ではないことが証明されない」という理由で、補助金を完全に不支給と決定した。「無償化」からの除外と補助金不交付は連動した動きであった。

大阪朝鮮学園は2012年9月「無償化裁判」に先行して、補助金復活を求めて大阪府と大阪市を提訴した。大阪朝鮮学園が原告となっている「無償化裁判」と「補助金裁判」の2つの裁判は、それぞれ13回、15回の口頭弁論を経て大詰め

を迎えている。

被告の国と大阪府に共通する発想が、朝鮮学校が学校教育法の「1条校」になれば問題が解決するという主張に表れている。原告側は「1条校」とは学習指導要領、検定済教科書、日本の教員免許に規定されている学校で「日本国民」を育成することが目的であるのに対して、外国人学校とは、外国人がアイデンティティを育む教育を行う場所であり、朝鮮学校に「1条校」になることを要件とするのは誤りであり、同化主義、民族教育への抑圧であると指摘した。

また大阪府下の朝鮮学校全10校の保護者を対象としたアンケート調査の結果を分析した学者の鑑定意見書には、保護者が国籍、就学経歴など属性が多様化し、無償化制度からの除外や補助金不交付という、さらなる経済的負担を強いられている状況にあっても朝鮮学校を選択している理由は「朝鮮人としてのアイデンティティを育む教育実践に対する高評価による」と説明されている。原告側は、いずれの裁判においても行政による措置が政治的意図による差別的な処分であり、違法であることを指摘してきた。しかし、国も大阪府も原告の主張に対して正面から対決せず、まともな反論ができていない。

これまでの学者による鑑定意見書など多くの証拠が提出され、証人申請もなされている。また全国各地で朝鮮学校の生徒や卒業生たちが原告となり、国賠訴訟を闘っており、弁護団、支援者たちも連携をとって闘いを組んでいる。これら一連の裁判闘争は単に補助金の再開、「無償化」適用を勝ち取ることだけにとどまらず、朝鮮人が民族教育権を取り返し、日本が植民地支配の清算を始める契機となるだろう。11月22日(水)には、2つの裁判の勝利に向けて支援集会が開かれます。ご参加、ご支援をお願いいたします。



▲デモを通じ高校無償化適用などを訴える

◆◆コラム◆◆

極低教科書

3・1独立運動を弾圧したのは決して日本人ばかりではない。親日派と言われる連中は誰一人この運動に参加していない。そればかりか、この民族独立という歴史のうねりの前で刀を抜き、同族を締め上げる役割を果たしたのである。

イ・ワニョン、パク・ヨンヒョ、ソン・ビョンジュン……。独立万歳を叫んだ者は誰一人いない。「韓日併合記念、朝鮮貴族日本観光団の記念写真」には、このような連中たちがしっかりと記録されている。その中の一人、チャン・ソクチュという男は誰よりも先に独立運動を武力で鎮圧すべきと主張し、ヒョン・ヨンソプという男は「朝鮮人の進むべき道」という教科書を作り、その中で「内鮮一体のためには朝鮮語を完全に無くさなければならない」と日本語で本を出したのである。

胸くそが悪くなった方もいらっしゃるでしょうが、もう少し親日派の迷語録をお聞き下さい。

パン・ウンモ(男) 大日本帝国臣民として天皇陛下に忠誠

キム・ソンス(男) 学徒よ！戦線へ出ろ！

キム・ファルラン(女) 美しい笑みで、子や夫を戦争へ送ろう！

お待たせしました。歴代韓国大統領、親日派の両巨頭をご紹介します。

上海臨時政府の金を横領し、ありとあらゆる不正を働いたこの方、現在韓国において“国父”と崇められている李承晩(イ・スンマン)博士の登場です。

「韓日併合後、わずか3年足らずで古い因習が支配する愚かな国から、活発で賑やかな産業経済の中心に変貌した」。

最後の一人、軍事独裁といえはこの方、現在の朴槿恵大統領のお父様であられる高木正雄(朴正熙)様の誤発言をお送りします。

高木正雄(朴正熙)「日本人として恥ずかしくない、精神と気迫で一死奉公！」

(おまけですが、自分で指を切った血で書いてはります。痛いので～)。

どうですか？皆さん、高木正雄将校の御令嬢であられる朴槿恵韓国大統領が、なぜ国定歴史教科書をがむしゃらに作ろうとしているのか、お解りになったでしょうか？ (景)

韓国第20代国会議員選挙の投票に向けた在外選挙人登録を行いましょ

韓国の第20代国会議員選挙(2016年4月13日投開票)に向けた、在外選挙人の登録申請が11月15日から始まります。

期限は2016年2月13日までの90日間。登録対象者は投票翌日の2016年4月14日時点で19歳以上となる韓国籍保有の在日韓国人で、在外投票は2016年3月30日～4月4日の6日間です。

在外選挙人登録に必要な提出書類は▲在外選挙人登録申請書、▲パスポート写本、▲日本政府が発行した国籍確認に必要な書類(特別永住者証明書、在留カード、ビザ、住民票のいずれか一つ)写本となっており、必要書類の提出と投票の際には、パスポート原本と日本政府が発行した国籍確認に必要な書類原本をともに提示しなければなりません。

申請は公館への直接訪問の他、郵送や電子メール、書類も少なく手軽なインターネット申請があります。詳細は在外選挙ホームページ ok.nec.go.kr、インターネット申請は ova.nec.go.kr をご覧ください。



◆ブックレット紹介◆

「民主主義をあきらめない」

岩波ブックレットNo.937
520円+税

安倍政権によって安保関連法が参議院で強行採決されて1ヶ月以上が経過しました。採決される前に比べると各種マスコミは、この問題が全て終わったかのように報道しなくなりました。しかし、法の廃棄を求める運動は各地で継続されており、またそうでなければならぬと思います。

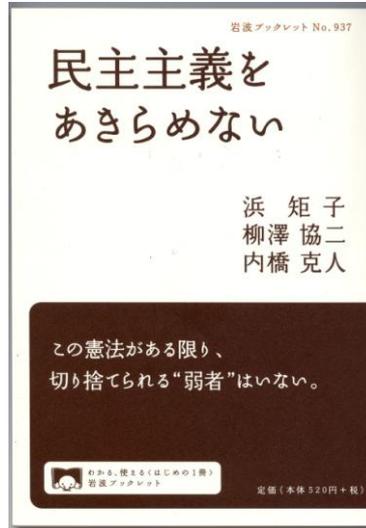
今回、私が紹介する岩波ブックレットは今年5月「鎌倉・9条の会」主催の「憲法のつどい2015 鎌倉」での講演を収録した「民主主義をあきらめない」です。講演者は同志社大学大学院教授の浜矩子さん、国際地政学研究所理事長の柳澤協二さん、経済評論家の内橋克人さんの3名で経済学者、元政府高官からみた安倍政権、集団的自衛権の危険性、民意が反映されない民主主義の問題について講演しています。

私がお気に入りなのは、浜矩子さんが平和憲法をテーマにした講演録です。よく知られています

が、浜さんは安倍政権の経済政策「アベノミクス」を「アホノミクス」と表現し批判していますが、講演の冒頭でも痛烈に批判しています。

そして、日本の平和憲法を守るために、私たちが持たなければならない大切な3つの道具として、▲人の言うことをきちんと傾聴する「耳」、▲人の痛みを自分の痛みとして受け止め、悲しみを思っと思わず涙する「目」、▲窮地に陥っている人たちを救うために差し伸べる「手」と語り、逆に安倍政権が最も持っていないのがこの3つとも指摘しています。

最後の内橋克人さんの講演では、内橋さんが心に残った言葉を紹介しているのですが、これも印象的でした。その言葉は「花を引き抜くことはできても、春の到来は止められない」。言葉の意味はブックレットに書いてあります。ぜひ読んで下さい。(ソソ)



◆◆行事案内◆◆

<p>韓統連生野支部 ウリ現代史セミナー</p> <p>第3回「抑圧と闘争の中から-民衆運動の模索と成長」</p> <p>第4回「統一運動への質的転換と6・15時代の到来」</p> <p>日時：第3回 11月 8日(日) 午前11時～</p> <p>第4回 11月29日(日) 午前11時～</p> <p>場所：韓統連生野支部</p> <p>(地下鉄北巽駅下車、徒歩7分)</p> <p>参加費：会員300円 一般500円</p> <p>教科書代：500円</p> <p>連絡先：090-4495-3863 (金)</p>	<p>2015年 韓統連大阪本部 送年のつどい</p> <p>日時：12月13日(日) 午後5時 受付</p> <p>午後5時30分 開会</p> <p>場所：ぱだん(つるはし交流ひろば)</p> <p>(JR・地下鉄“鶴橋”駅下車徒歩10分)</p> <p>大阪市生野区鶴橋2-15-28</p> <p>内容：パワーポイントによる</p> <p>2015年の情勢・活動を振り返る 他</p> <p>会費：2千円(お酒を飲まない方は1500円)</p> <p>主催：韓統連大阪本部 TEL06-6711-6377</p>
---	--

編集後記

皆さんは「ブラック企業大賞」という賞を知っていますか？今年で第4回を迎え、すでに今年のノミネート6社も発表され、11月29日が授賞式です。ちなみに昨年の大賞は大手家電量販店でした。詳しくはホームページで「ブラック企業大賞」と検索してください。今年は何の企業が大賞でしょうか？ちょっと注目。(ソソ)